

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

令和2年度 6月

立川市立第九小学校
校長 菊池 修
立川市上砂町2-18-1
TEL042-536-2231

あしっこ

校長 菊池 修

教育の歴史の中でも例を見ない長い間の休校が解除されました。3 か月もの間学校に来ないということは、普通の学校教育ではありませんでした。特に戦後の教育の中では初めてのことです。新型コロナウイルスが無くなったわけではありませんので、今後も感染予防に努めていかなければなりません。ご家庭での検温や健康観察といったところでご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

3 か月の家庭での生活が続いたことによって、学校生活のリズムを取り戻すには少し時間がかかるかもしれません。学校でも、すぐには通常の時間割での授業というわけにはいかず、分散登校といった形で、少しずつ元のように戻していきます。

今年度は2 か月も臨時休校だったことで、教育課程を大幅に変えていかななくてはなりません。例年であればとか、去年はとか、お兄さんやお姉さんの時には、と感じられることが多くあるかもしれません。感染予防をする中で、現学年の学習内容を指導していくことが必要となりますので、ご理解いただくことも多くあります。どうぞよろしくお願いいたします。

将来子どもたちが大人になった時、「あの時は大変だった。」と振り返ることがあると思います。また、このことを知らない世代になった時には、「昔、日本全国で3 か月も学校が臨時休校になったことがあるらしいよ。」と語られる時も来るでしょう。

今まで通りに行わないことを、失われたと考えずに、別の方法が生まれたと考えていきたいと思います。長い歴史の中には、どこかで変化が起きることがあります。変化したばかりの時には、前のやり方などに慣れているのでなかなか受け止められないことがあります。時間が経つと、新しいやり方に慣れ、それが当たり前だと思うようになります。

生活の中でも新しいやり方に変わることで、始めのうちは抵抗感があるものの、やがてはそのやり方が定着することが多くあります。今回の臨時休校による、様々な変化がそのまま定着したやり方になるものもあれば、以前のやり方を取り戻して行っていくというものもあります。いずれにせよ、地域・ご家庭の皆様のご理解とご協力なしにはできません。皆様のご意見もいただきながら、よりよい学校教育の在り方、より安全な学校生活の在り方を考えていきます。それが、長い九小の歴史の一步となり、将来振り返った時に、九小の教育活動の足跡つまり「あしっこ」となっていくことになるでしょう。

臨時休校の際には、ホームページや学校メールで様々なお願いをしてまいりました。中には、学校からの説明が十分でなく、ご迷惑をおかけしたことが多くありました。そのような中でも、保護者の皆様のご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。今後も、よろしくお願いいたします。